

評価細目の第三者評価結果 (児童分野 保育所)

評価対象Ⅳ 保育所保育の基本

Ⅳ－１ 養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
Ⅳ－１－（１） 保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育課程は保育理念、基本方針、保育所の役割、保育の目標に基づき、地域の実態に即して、編成されている。例えば、未就園児交流としての「アップルクラブ」、元気子育てサロン事業として園庭開放や図書貸し出し、子育て相談を行なっている。また年長児が地域の方々とともに、地域の公園の花植えをする等、地域の人々と交流を行なっている。課程の編成は職員間で定期的に評価し、見直し、改善されている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅳ－１－（２） 乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	A・(B)・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>感染に気をつけ、夜間に室内を滅菌消毒して衛生的な環境作りに努めている。また、生活場所と食事場所を区切り、保育室の適切な利用に努めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>乳児保育のための適切な環境が整備されているが、今後更なる改善の余地を考えるとすれば、たとえば、家具などで2つに部屋を分け、ホッとする場を作ったり、一日の流れの中で、全員の活動と少人数の活動ができるような工夫について検討される等、さらなる工夫に向けた取り組みに期待したい。</p>	
Ⅳ－１－（３） 1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>子どもの心に寄り添い、子どもの気持ちを大切にし、一人ひとりの成長や発達に合わせた保育を行なっている。送迎時には、保護者から子どもの様子を聞いたり、連絡帳で把握した上で、日中の様子を観察して体調の変化を読み取るようにしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅳ－１－（４） 3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>年間を通してマラソン、カルタ取り大会、縄跳び大会等、子どもたちが挑戦し、自信を持って、成長していける保育内容が提供されている。運動会のごほうびに縄跳びをプレゼントしてそれを保育計画の中に活動として取り入れ、縄跳び大会を行う。またクリスマスのプレゼントにカルタをもらい、かるた大会の活動とつなげる等、子どもたちの活動意欲を大切にして、チャレンジ精神を育てている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

IV-1-(5) 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。	(A)・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 小学校との連携として、1年生の授業参観に園長や担任が出席したり、2年生が夏休みに園探検として来園したり、4年生がボランティアとして来園した時に子どもたちが小学校について知り、入学についての興味や関心を高めている。また、保護者は保育士と教師との懇談会に出席し、就学前の大切な事項を話し合っている。</p>	
改善できる点/改善方法：	

IV-2 環境を通して行う保育

	第三者評価結果
IV-2-(1) 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	A・(B)・C
<p>良い点/工夫されている点： 衛生面においては、0歳、1歳児の保育室と給食室に滅菌機を設置し、衛生管理に努め、0歳～2歳児の保育室には加湿空気清浄機を設置し、感染症の予防に配慮している。</p>	
<p>改善できる点/改善方法： 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されているが、未満児にとって心地よい生活空間環境として、理想を目指して、更なる改善の余地を考えるとすれば、たとえば、保育室の中を家具の配置等考え有効に使い、くつろげる場づくりや食事と活動の場を区別することについて検討される等、今後とも、さらなる工夫に向けた取り組みに期待したい。</p>	
IV-2-(2) 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。	(A)・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 自分から進んで基本的な生活習慣が確立できるようにほめたり、励ましたりと温かい言葉がけを大切にしている。また年間を通して戸外遊びの時間を多く設定して、身体を十分動かす活動を多く取り入れている。園庭は広くないが、大型のアスレチック遊具等、子どもたちが運動能力を高めて遊ぶことができる空間がある。</p>	
改善できる点/改善方法：	
IV-2-(3) 子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。	(A)・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 日常の保育の中で子どもたちが保育活動、行事等主体的に取り組んだり、自由遊びの時間が多く設定されているので、異年齢の子どもたちと関わって様々な玩具、遊具で遊ぶ機会がある。</p>	
改善できる点/改善方法：	
IV-2-(4) 子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている。	(A)・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 園に送迎バスを複数台配置しているので、年間を通してイチゴ狩り、ぶどう狩り、芋ほり等園外保育で自然や社会との関われる機会が多い。また、高齢者施設のクリスマス会や施設訪問等、地域の人々と交流している。</p>	

改善できる点／改善方法：	
IV-2-(5) 子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>絵本の読み聞かせ、紙芝居、図書の貸し出し等を積極的に保育に取り入れている。また日常の保育活動の中で培ってきた力を発揮する場が多くあり、子どもたちが自信や達成感を持ち、育っていくことができる良い環境が整備されている。行事の一つであるかるた大会では、文字に興味を持ち、遊びの中で言語や話し言葉に興味や関心を持つことができる。保育の中で外部の指導者によるキッズダンスは、全園児が自由に表現することの楽しさを体験している。</p>	
改善できる点／改善方法：	

IV-3 職員の資質向上

IV-3-(1) 保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	第三者評価結果
	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>自己評価のチェック表があり、保育士は自分の保育実践を見直し、改善につなげている。学年担任同士で保育実践を振り返るとともに、職員会議等で保育内容を検討する等して、保育の質の向上に努めている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

評価対象V 子どもの生活と発達

V-1 生活と発達の連続性

V-1-(1) 子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	第三者評価結果
	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>子ども一人ひとりの家庭環境や発達過程について職員間で共通理解に努めている。子どもの目線に合わせてあるがままの姿を受け止め、子どもの心にしっかりと向き合って対応している。</p>	
改善できる点／改善方法：	
V-1-(2) 障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	A・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>現在、障がい児は在園していない。受け入れの際には対応できるような体制作りに取り組んでいる。障がい児についての研修に参加する等して理解を深める取り組みをしている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
V-1-(3) 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	A・Ⓑ・C

<p>良い点／工夫されている点： 午後5時以降、その時の人数によって合流する時間を決めて、未満児クラスに集まるようにしている。伝達事項に関しては、担任が伝えてほしいことをメモにして長時間保育の担当者に渡している。</p>
<p>改善できる点／改善方法： 今後、長時間保育についても計画的な保育が要請されていくと考えるので、さらなる理想を目指して、長時間の保育計画について作成に向けた取り組みに期待したい。</p>

V-2 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場

V-2-(1) 子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	第三者評価結果 (A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 戸外活動を多く取り入れ、夏期には裸足体操実践する等、健康な身体作りに取り組んでいる。子どもの健康管理については、朝の送迎時に保護者から健康状態を教えてもらい、観察を行い、職員間で共有している。体調不良時には詳しく連絡を入れ、対応している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
V-2-(2) 食事を楽しむことができる工夫をしている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 食育として、給食を食べる前には「今日のメニュー」の説明をして、身体に必要な栄養を取るために好き嫌いなく食べるよう伝えている。異年齢で食事をするときは、様々に年齢別の組み合わせを変えて食事をしている。また土曜日等は縦割りで会食をしている。子どもたちが野菜作りをしたものを家庭に持ち帰り、調理して食べたり、サツマイモ等は年齢別に鬼まんじゅう、茶巾しぼり、ふかしイモ等に調理する体験を実施している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
V-2-(3) 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 市の保育園給食の献立に基づき、提供している。子どもたちの喫食状況を調理員と保育士と連携して、把握し、調理の工夫に活かしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
V-2-(4) 健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 事前に問診票を配布し、保護者に質問事項について提出してもらい、結果や回答を伝えている。年2回の内科、歯科健診、年1回耳鼻咽喉科、眼科の健診を実施している。健康診断・歯科健診の結果を保護者に知らせている。異常があった場合、医療機関の診療結果票を提出してもらおう等して、子どもの健康管理に努めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

V-3 健康及び安全の実施体制

V-3-(1) アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	第三者評価結果 (A)・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 保護者から主治医の意見書を提出してもらっている。食事の提供時には調理員、園長、担任等、複数の目で確認している。強いアレルギー疾患のある子については毎月、保護者、調理師、担任と除去食の打ち合わせを行なっている。食物アレルギーについて医師と勉強会を行ったり、情報交換を行う等して連携体制を密にしている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
V-3-(2) 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	(A)・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 毎日、調理師が衛生管理点検表でチェックし、園長が確認している。また、衛生管理業者に委託して、毎月室内の衛生管理を実施している。給食室には滅菌機を設置し、夜間、定期的な時間に滅菌消毒を実施する等、衛生管理に努めている。</p>	
改善できる点/改善方法：	

評価対象VI 保護者に対する支援

VI-1 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
VI-1-(1) 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	A・(B)・C
<p>良い点/工夫されている点： 年少児対象に給食試食会を実施し、給食の内容について説明して、乳幼児が成長するうえでの食事の大切さや朝食はしっかり食べて登園してもらうよう伝えている。また、給食・食材産地を掲示して保護者に知らせている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法： 保護者が食育に関心を持つよう、子どもたちの人気メニュー等のレシピを作り、保護者の来園時に渡したり、園だよりに食育のコーナーを作り記事として伝える等の取り組みに期待する。</p>	
VI-1-(2) 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	(A)・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 送迎時等、保護者とのコミュニケーションに心がけ、園での様子や出来事を伝えたり、連絡帳に記載し、密に情報交換を行うよう努めている。個別懇談では園での様子を伝える他、いつでも来てもらえるように保護者に呼びかけ、また、子育てについては、園も一緒に行っていることを伝えて安心して利用してもらえるよう配慮している。</p>	
改善できる点/改善方法：	
VI-1-(3) 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	(A)・B・C

<p>良い点／工夫されている点： 個別懇談の機会を設定したり、個別に懇談時間を設けて相談できる環境づくりに努めている。また、家庭と連携して子育てをするという方針で、行事には、子どもたちの育ちの姿を見てもらえるよう参加型の活動(親子遠足、収穫祭等)を取り入れている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>VI-1-(4) 虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 虐待につながるような事例は今まではないが、マニュアルについて全員が共通理解を持って対応していく体制を築いている。日頃から、小さな変化も見逃さないように観察する等し、保護者や園児の日常の変化を察知するよう留意して、早期発見や予防に努めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

評価対象Ⅷ 個別サービス着眼点（岐阜県独自項目）

Ⅶ-1 安全管理面でのサービス

	<p>第三者評価結果</p>
<p>Ⅶ-1-(1) 外部からの侵入に対する対応策がとられている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 防犯カメラを設置し、不審者のチェックを事務室で行っている。不審者の情報はメールや貼り紙等で速やかに保護者に伝えられるようにしている。また、不審者訓練を通して、危機管理体制の強化に努めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

Ⅶ-2 保護者とのコミュニケーション

	<p>第三者評価結果</p>
<p>Ⅶ-2-(1) 保護者の保育参加を促すような工夫をしている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 年度初めには、年間行事の予定を知らせ、園日よりその月の行事を詳しく知らせている。チャレンジ教室(絵画、英語、帯域。習字、キッズダンス、スイミング)への自由参加を促している。園の行事は、なるべく保護者参加ができる内容にしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅶ-2-(2) 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 保護者会は保育室で土曜日に行い、行事への意見を聞く等して保育に活かしている。保護者会からは行事時や高齢者施設等へのプレゼントの協力がある。保護者役員会には職員も出席し、園の方針や状況を報告したり、意見交換する等コミュニケーションを図っている。</p>	

改善できる点／改善方法：

Ⅶ－３ 保育所・幼稚園・小学校との連携

	第三者評価結果
Ⅶ－３－（１） 保育所・幼稚園・小学校との連携した取組を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
良い点／工夫されている点： 年長児は1年生の授業参観を出席したり、小学2年生の園探索、小学4年生の訪問ボランティア等を通して小学生との交流を行い、各学年の交流を行うことで、在園児の心の成長に役立っている。	
改善できる点／改善方法：	